

リハビリテーション研究法特論（研究計画）

[講義] 第1学年 前期 必修 2単位

《担当者名》 青木光広 mitsuhiro-ao@hoku-iryo-u.ac.jp
下村敦司 shimo@hoku-iryo-u.ac.jp
大須田祐亮 osuda@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

研究を行う上で必要な基礎知識と研究の進め方を概説する。また、実際にデータをとる際に注意すべき点や、論文の検索法、クリティカルレビューの方法を概説した後、学生が実際にクリティカルレビューを行い、報告する。また、研究活動の実際について、論文投稿や査読、科学研究費に関するトピックスを紹介する。

【学修目標】

一般目標

研究の意義について、基礎知識と研究の進め方を理解する。

行動目標

1. 研究の意義や目的について説明することができる。
2. 研究デザインと倫理的配慮について説明できる。
3. 必要な研究資料を検索することが出来る。
4. 研究論文を読みクリティカルレビューを行うことが出来る。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 研究概論（1）	研究とは	青木光広
2	研究概論（2）	研究テーマの選定、研究の進め方、研究仮説の立て方	青木光広
3	研究の基礎（1）	対象者の選定	下村敦司
4	研究の基礎（2）	評価因子の選択	下村敦司
5	研究の基礎（3）	測定値（概論、信頼性、妥当性）	下村敦司
6 ） 7	研究の基礎（4）	統計処理の実際	下村敦司
8 ） 9	研究に関する情報収集	論文の検索、読み方（PIC0）とクリティカルレビューの概説	大須田祐亮
10 ） 11	クリティカルレビューの実際（1）	研究者の所属を理解することにより、研究の歴史的背景、研究施設の状況、進行中の研究について理解する	青木光広
12 ） 13	研究の実際（1）	科学論文投稿の実際 科学論文査読の実際 科学研究費の種類と申請	大須田祐亮
14	クリティカルレビューの実際（2）	研究者の得意分野を理解することにより、共同研究者を把握し、研究の流れとこれからの方向性、彼らの将来の目標を理解する	青木光広
15	研究の実際（2）	研究倫理と倫理審査 研究計画書の書き方 科学論文の書き方 まとめ	大須田祐亮

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート課題 / プレゼンテーション100%

【教科書】

最新理学療法講座 理学療法研究法 対馬栄輝編著 医歯薬出版 2021

【参考書】

Portney L 他 著 「Foundations of Clinical Research: Applications to Practice」 Pearson 2008年

野口ジュディー 他 著 「Judy先生の英語科学論文の書き方」 講談社 2015年

内山靖 他 編 「理学療法研究法」 医学書院 2013年

岩本隆茂 他 著 「シングル・ケース研究法：新しい実験計画法とその応用」 勁草書房 1990年

森本剛 著 「医学論文のための研究デザインと統計解析」 中山書店 2017年

Dawson B 他 著 「医学統計データを読む 医学・医療に必要な統計学活用法 第3版」 メディカルサイエンスインターナショナル 2006年

福原俊一 「臨床研究の道標」 健康医療評価研究機構 2013年

【学修の準備】

予習は、関連の文献等関係資料を各自調査し学習すること（80分）。

復習は、プリント、講義メモを活用して学習を深めること（80分）。